

Close-up

遊び、学び、夢を実現する!

あおぞら作文教室

子どもたちの文章を書く力を伸ばすことに特化した作文教室です。教室では、単に作文を書かせて添削するのではなく、独自のメソッドを使い、学ぶ力や考える力を身につけるための指導を行っています。

子どもの“自己肯定感”を高める

子どもたちが楽しんで書けるように、一緒に考え、見本を見せて、できたらしっかり認めます。子どもたちは成功体験を経て自信を持つと、自己表現する力が身につく、そこで、自己実現力がつくことになります。その姿を見守る親御さんにも、安心感をお届けしている教室です。



学びに“遊び”を取り入れる

今の子どもたちは、タブレットなどで遊ぶ時間が長いので、“体験”の機会が減っているのが現状です。教室では、あやとりや折り紙の時間も設けており、遊びの体験を通じて、思考力、判断力、表現力を身につけていくこと、子どもたちの力を引き出すことも大切にしています。



INFORMATION



あおぞら作文教室(五反野本校)

創業 2016年
所在地 東京都足立区西綾瀬2-23-33
TEL 03-6807-2025
MAIL info@sakubuncafe.com
WEB http://sakubuncafe.com



※築地クラス、浜町公園クラス、早稲田クラス、南千住クラス、用賀クラスもあります。

あなたの夢を公的保証でバックアップ!



(創業セミナーの様子)

東京信用保証協会では、創業を予定している方から創業して間もない方までを対象に「金融支援」と「経営支援」の両面から継続的な支援を行っています。

多様化する创业者のニーズにきめ細やかに対応するため、まだ明確なビジネスモデルをお持ちでない方や、すでに具体的な行動を起こされている方など、状況に合わせたサポートメニューを用意し、支援体制の充実に取り組んでいます。

〈金融支援〉保証申込・相談窓口

当協会は、創業時や創業後に金融機関の融資を受ける際に公的な保証人となって、借入をスムーズにし、企業の成長を金融の面からサポートしています。東京都内12支店※に創業支援窓口「創業アシストプラザ」がございます。

担当地域制をとっていますので、法人(設立予定を含む)の方は本店または事業所の所在地、個人の方は住居または事業所の所在地を担当する窓口にお気軽にご相談ください。

※詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

〈経営支援〉創業者向けセミナー・スクール

創業スクール

都内で創業予定の方で具体的な創業プランをお持ちの方を対象とした、週1回全8回のスクールです。外部講師を招き、講義・個人ワーク・グループ演習を毎回行うことで、資金調達の際などに、「人に見せて話せる」創業プランの作成を目指します。

また、当協会の職員がアドバイザーとなり、講師と一緒に創業計画のブラッシュアップをサポートします。創業時に、借入による資金調達をお考えの方に特にお勧めです。

創業セミナー

中小企業診断士・税理士・弁護士等の専門家を講師に招き、お好きな講座を受講していただける選択受講制のセミナーや、先輩起業家の体験談、女性の起業を後押しする女性限定セミナー等、様々な切り口から事業に役立つ知識を学べるセミナーをご用意しています。当協会職員による保証協会ミニセミナーや個別相談会も実施しており、創業に際して資金調達を検討している方や創業後に経営のヒントを得たい方にも最適です。

専門家派遣

当協会の保証をご利用いただいているお客さまで創業から間もない方を対象に、中小企業診断士等の専門家派遣を行っています。ご自身で作成した計画をもとに実際に創業してみると、思うように事業が軌道に乗らないことや、予想していなかった課題が浮上することがあります。専門家がお客さまのもとに直接訪問し、当初の計画を見直すことで、現状の課題を洗い出すとともに、その解決に向けた改善策についてアドバイスを受けることができます。

Start-up Story

創業からはじまる、新しい未来。

INTERVIEW

あおぞら作文教室
株式会社立命 代表取締役
眞野玲子さん



START-UP STORY

(発行) 東京信用保証協会 経営支援部 2022年1月
(住所) 〒104-8470 東京都中央区八重洲2-6-17 (TEL) 03-3272-2276
(WEB) <https://www.cgc-tokyo.or.jp>



TOKYO GUARANTEE 東京信用保証協会

作文教室で起業

ワタシが生きる 新しい生き方

子どもたちの「書く力」、そして「自己肯定感」を育みたい——。
それまでの人生経験を通じて積もる思いに突き動かされて、
2016年、子ども向け作文教室『あおぞら作文教室』を創業した眞野玲子さん。
バイタリティあふれる生き方が眩しい眞野さんに
創業までの歩みやこれからの目標をお聞きました。

あおぞら作文教室
株式会社立命 代表取締役
眞野 玲子さん
Mano Reiko

大学卒業後、ベースボール・マガジン社に入社。1997年同社を退社。子育ての傍ら、小学校の介助員など地域活動に積極的に参加。2011年地域で作文指導をスタート。2016年株式会社立命を設立、代表取締役に就任。



MOVIE

インタビュー
動画はこちらから



「なぜ書けないのか」が 創業のきっかけ

私には子どもが三人いるのですが、長男は小学校低学年の頃、作文が全然書けなくて…。ライターである私の息子なのに、なぜ書けないのだろうと悩みました。また、私は小学校で特徴のある子どもを支援する介助員の仕事もしていたのですが、学校の現場では「書くこと」を教える指導がなされていないことに気づきました。私なら、これまでのライター経験を活かした独自のメソッドで教えられる。子どもたちに「書くこと」の楽しさを伝えたいと思い、始めたのが『あおぞら作文教室』です。

作文教室で創業しようと思ったのは、自己実現のためでもありました。現在の社名「立命」は孔子の『論語』からいただいた言葉です。当時、私は主婦として何不自由な

い暮らしをしていましたが、自分の“命が立つ”生き方をしていない、やらなければならないことがある、と強く思ったんです。教育は子どもの“命を立てる”お手伝いであり、やっと私が人生をかけてやるべきことに出会えたと感じた時、創業を決意しました。

多くの支援を活用し 夢を現実に

本格的に事業を始める際、教室となる物件を借りる必要があり、資金調達のために金融機関に相談しました。そこで、東京信用保証協会の存在を知りました。当時は預金も少なく、身近に保証人になってくれる人もいなかったため、融資は諦めていました。でも、事業に見込みがあれば、自分の信用だけで、東京信用保証協会が公的な保証人となって融資を受けられる。そのことが分かった時には、本当に嬉しかったです。

その後は、区の起業セミナーや創業プランコンテストに参加し、そこで出会った中小企業診断士にも相談するようになりました。国も自治体も起業を応援しているので、多くの支援メニューが用意されています。私はそれらの支援をフル活用してきましたし、支援を受けた分は社会に還元できるよう頑張りたいと思っています。

次の目標達成のため 経営者塾で勉強中！

楽しく学ぶことを大事にしている教室なので、子どもたちが楽しそうに学ぶ姿を見ている時が一番幸せを感じます。子どもの笑顔を見て安心される親御さん、いきいきと働くスタッフの姿を見ている、創業してよかったと心から思います。

日本人の“自己肯定感の低さ”を社会課題の一つと考えており、教室を通じ

て、子どもの自己実現力を高めることを大きな目標にしています。そのためには、より一層サービスを充実させていく必要があると考えています。偏差値教育に埋もれがちな子どもの発想力や想像力を伸ばす教室として今後も拡大していきたいです。具体的には、5年間で年商1億円規模の企業を目指しています。そのために「東京都女性経営者経営基礎コース」に通って猛勉強中です。

これから 創業を考える方へ

普通の主婦だった私が、ママ友や自治体の方、中小企業診断士など、多くの人の支えのおかげで創業することができました。だから、皆さんにも「やれますよ!」と言いたいです。

自分がやりたいことをやるだけなので、諦めずに、ぜひ挑戦していただきたいです！



ワンポイント
アドバイス

私はこうして助成金を利用しました！

POINT

1 | 自分の目的に合う助成金に申請を

まずは、区の助成金を担当している部署のウェブサイトを確認することから始めました。そこには助成金の目的が書いてあり、例えば「子どもの学力向上」など、自分の目的と一致している場合のみ、申請しました。助成金がほしいからと、目的に合わせて事業計画を作るのでは本末転倒です。自分のために作った事業計画なので、たとえ助成金が受けられなくても取り組めるよう事前準備が大切です。

POINT

2 | 先に手元資金を確保しよう

私が受賞した区の創業プランコンテストの場合、「賞金200万円」と明記されていましたが、実際には「対象経費の2分の1以内」の助成でした。つまり、先に事業費400万円を使って、後から助成金200万円が戻る仕組みです。後から資金が入るのは心配な部分もあるので、私は先に金融機関で400万円の融資を受けてから、コンテストに応募しました。皆さんにも、手元の資金を確保した上で、助成金の申請をすることをお勧めします。